

## 明日11日、田母神氏の参考人質疑！

週開け国会は、新テロ特の参議院採決めざす動きが強まり、緊迫しています。民主党が「(田母神氏の)参考人質疑が終われば法案採決の日程協議に応じる」(9日・日経新聞)としていることから、一部に13日委員会採決、14日参議院否決、衆議院再可決との流れも伝えられています。しかし田母神問題に世論が厳しく反応していることで「これと絡めて採決引き伸ばしせず」とする民主党内に動揺も生まれています。法案阻止のたたかひの強化が重要です。

### — 当面の国会行動 —

- 11月11日(火) 10時～12時半・田母神氏参考人質疑 12時15分・議面集会
- 11月13日(水) 時間未定 傍聴行動、審議状況により抗議行動を配置

#### 資料 衆議院テ・イ特別委員会速記録(要旨)から

■一〇月二〇日

■武力行使を目的とした海外派兵・解釈改憲関連

○中谷委員(自民)国連決議による国連PKOなどの活動で、わが国が参加した場合、武力行使をすることもあり得るのか。

○直嶋参議院議員(民主)国連のそういう決議(四一条、四二条)があれば、可能ということで、直ちにそれをもって武力行使を行うということではない。日本政府として判断することだ。

○中谷委員(自民)実際に民主党が政権につかれたら、従来の憲法解釈を変えて内閣運営をするのか

○直嶋参議院議員(民主)当然、法律の整備も必要になる。方針に基づいて、政権を担当させていたなければ作業に着手することになる。

○浅尾参議院議員 それに基づく法律が出来た段階で、従来の政府の考え方と違う法律が出来ると言うふうに思っている。

■一 月五日 中村哲さんの参考人陳述から

・アフガンでは五〇〇万人が飢餓状態にある。今冬、数十万人は生きて冬を越せない。食べていけないがために悪いことに手を出す。一般の人にとっては戦争どころではない。

・米国の軍事活動に協力していることが知れ渡ってくるにつれ、日本が同胞を殺すのかと、日々日本に対する感情は悪くなっている。

・アフガン問題を先ずの政治的な道具にしたり、経済的な利益と言う観点から見るのではなく、日本の岐路を決定する重要問題として討議願いたい。

・外国軍の援助は一切不要。治安は警察の問題で軍隊の問題ではない。

・アフガンに何をすべきかではなく、何をすべきかをはっきりと明確にするだけで事態は好転する。自衛隊派遣で治安は確実に悪化する。断言する。だから自衛隊という軍隊を復興の名で送ることは有害無益だ。